

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月9日

【四半期会計期間】 第74期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 岡本硝子株式会社

【英訳名】 OKAMOTO GLASS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長 岡本 毅

【本店の所在の場所】 千葉県柏市十余二380番地

【電話番号】 04(7137)3111

【事務連絡者氏名】 法務・知財部長 兼IR課長 風間 卓

【最寄りの連絡場所】 千葉県柏市十余二380番地

【電話番号】 04(7137)3111

【事務連絡者氏名】 法務・知財部長 兼IR課長 風間 卓

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第73期 第1四半期 連結累計期間	第74期 第1四半期 連結累計期間	第73期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	1,582,326	1,276,200	6,078,943
経常利益又は経常損失( ) (千円)	81,057	58,497	271,531
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 又は親会社株主に帰属する 四半期純損失( ) (千円)	30,148	57,215	186,823
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	25,816	65,654	88,907
純資産額 (千円)	2,210,918	2,274,956	2,340,611
総資産額 (千円)	7,262,421	7,406,567	7,572,015
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( ) (円)	1.33	2.47	8.21
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	1.33		8.20
自己資本比率 (%)	30.4	30.7	30.9

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、第74期第1四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、個人消費と設備投資が堅調であることから景気の拡大を続けており、ヨーロッパ地域では、英国は景気の回復が弱いものの、ドイツで持ち直しの動きがみられるなど全体としては緩やかに回復し、中国では、景気は緩やかに減速するとともに、米国との貿易摩擦が懸念材料となっております。日本経済は、輸出に弱さが続いているものの、個人消費の持ち直しにより、景気は緩やかな回復基調を続けております。

当第1四半期連結累計期間のプロジェクターの需要は、サッカーワールドカップ開催にともなう需要増のあった前年同期との比較では減少しており、当社グループの反射鏡及びフライアイレンズへの需要は減少しました。

他方、ガラス容器への加飾蒸着の需要は増加しており、この需要増に対応するため、新潟岡本硝子株式会社でのクリーンルーム設置は完了し、2019年6月にガラス容器への加飾蒸着を開始いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,276百万円(前第1四半期連結累計期間比19.3%減)、経常損失58百万円(前第1四半期連結累計期間の経常利益81百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失57百万円(前第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益30百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「3 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

#### 光学事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は690百万円と前年同期と比べ321百万円(31.8%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は100百万円と前年と比べ100百万円(50.2%)の減益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前年同期比34.0%減少し、売上高は29.8%減少いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前年同期比で41.2%減少し、売上高は34.1%減少いたしました。

#### 照明事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は166百万円と前年同期と比べ40百万円(19.6%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は4百万円と前年と比べ12百万円(74.8%)の減益となりました。ヘッドアップディスプレイ向けレンズの売上高が減少いたしました。

#### 機能性薄膜・ガラス事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は248百万円と前年同期と比べ60百万円(32.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1百万円と前年と比べ3百万円(74.9%)の減益となりました。ガラス容器への加飾蒸着の売上高が増加し、銀ミラー(Hi-Silver®)の売上高が減少いたしました。

#### その他

当第1四半期連結累計期間の売上高は171百万円と前年同期と比べ4百万円(2.5%)の減少となり、セグメント利益(営業利益)は10百万円と前年と比べ26百万円(前第1四半期連結累計期間のセグメント損失は16百万円)の増益となりました。研究開発費などの販売費及び一般管理費が減少いたしました。

## (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて165百万円減少し、7,406百万円となりました。

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ83百万円の減少となりました。この主な要因は、商品及び製品が70百万円増加したこと及び仕掛品が74百万円増加したこと並びに現金及び預金が109百万円減少したこと及び受取手形及び売掛金が102百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ81百万円の減少となりました。有形固定資産が46百万円減少したこと及び投資有価証券が43百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ165百万円の減少となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ47百万円の増加となりました。この主な要因は、短期借入金が96百万円増加したこと及び賞与引当金が43百万円増加したことなど並びに1年以内返済予定の長期借入金が73百万円減少したこと及び未払法人税等が46百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ147百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が133百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は99百万円の減少となりました。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が57百万円減少したことなどによるものであります。

## (3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は33百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は契約等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	63,766,960
計	63,766,960

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	23,126,440	23,126,440	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株であります。
計	23,126,440	23,126,440		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年6月30日		23,126,440		2,477,986		716,581

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

(2019年6月30日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 700		株主としての権利内容に制限のない、 標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 23,122,900	231,229	同上
単元未満株式	普通株式 2,840		同上
発行済株式総数	23,126,440		
総株主の議決権		231,229	

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

(2019年6月30日現在)

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 岡本硝子株式会社	千葉県柏市十余二380番地	700		700	0.0
計		700		700	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	724,387	614,631
受取手形及び売掛金	1 1,349,162	1 1,246,463
商品及び製品	366,305	436,407
仕掛品	996,874	1,071,547
原材料及び貯蔵品	81,279	81,715
その他	68,157	51,867
流動資産合計	3,586,167	3,502,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,091,920	1,129,367
機械装置及び運搬具(純額)	1,017,208	978,197
土地	703,014	703,014
リース資産(純額)	211,290	195,716
建設仮勘定	413,263	392,257
その他(純額)	97,704	89,561
有形固定資産合計	3,534,401	3,488,114
無形固定資産		
投資その他の資産	115,477	123,200
投資その他の資産		
投資有価証券	212,227	169,101
その他	123,741	123,518
投資その他の資産合計	335,969	292,619
固定資産合計	3,985,847	3,903,934
資産合計	7,572,015	7,406,567
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 376,062	2 382,761
短期借入金	124,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	1,781,668	1,707,725
リース債務	60,656	61,010
未払法人税等	57,381	10,887
賞与引当金	75,438	118,755
未払金	236,593	225,636
その他	2 98,691	2 131,012
流動負債合計	2,810,491	2,857,789
固定負債		
長期借入金	1,788,047	1,654,323
リース債務	243,077	227,691
繰延税金負債	23,195	21,480
退職給付に係る負債	292,843	295,375
資産除去債務	47,767	49,221
その他	25,979	25,728
固定負債合計	2,420,912	2,273,821
負債合計	5,231,404	5,131,610
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,477,986	2,477,986
資本剰余金	716,581	716,581
利益剰余金	850,715	907,931
自己株式	429	429



株主資本合計	2,343,423	2,286,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,751	22,042
為替換算調整勘定	35,546	32,933
退職給付に係る調整累計額	54,819	53,795
繰延ヘッジ損益	11,290	12,431
その他の包括利益累計額合計	2,812	11,251
純資産合計	2,340,611	2,274,956
負債純資産合計	7,572,015	7,406,567

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,582,326	1,276,200
売上原価	1,118,495	912,785
売上総利益	463,831	363,415
販売費及び一般管理費		
役員報酬	22,990	22,283
給料及び手当	101,411	111,300
退職給付費用	3,422	4,567
減価償却費	9,878	14,502
旅費及び交通費	11,223	11,393
支払手数料	25,273	23,830
運賃	23,751	16,087
賞与引当金繰入額	13,956	17,187
研究開発費	72,861	33,139
その他	94,845	117,309
販売費及び一般管理費合計	379,615	371,601
営業利益又は営業損失( )	84,215	8,185
営業外収益		
受取利息	17	7
受取配当金	1,826	1,726
為替差益	21,181	-
助成金収入	855	616
業務受託料	2,244	2,383
その他	1,218	1,749
営業外収益合計	27,343	6,484
営業外費用		
支払利息	13,561	13,821
為替差損	-	10,153
持分法による投資損失	15,150	30,390
その他	1,789	2,430
営業外費用合計	30,501	56,796
経常利益又は経常損失( )	81,057	58,497
特別利益		
投資有価証券売却益	-	3,567
固定資産売却益	34	938
特別利益合計	34	4,506
特別損失		
固定資産除却損	33,508	-
特別損失合計	33,508	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	47,583	53,990
法人税、住民税及び事業税	17,151	3,233
法人税等調整額	282	8
法人税等合計	17,434	3,224
四半期純利益又は四半期純損失( )	30,148	57,215
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )	30,148	57,215

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	30,148	57,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,257	5,709
為替換算調整勘定	1,348	2,613
退職給付に係る調整額	273	1,023
繰延ヘッジ損益	-	1,141
その他の包括利益合計	4,332	8,439
四半期包括利益	25,816	65,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,816	65,654

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 手形割引高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形割引高	千円	60,408千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
支払手形	65,409千円	38,277千円
設備関係支払手形	636千円	2,642千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	114,996千円	96,516千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,012,011	207,010	187,523	1,406,544	175,782	1,582,326
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,012,011	207,010	187,523	1,406,544	175,782	1,582,326
セグメント利益 又は損失( )	200,932	16,992	4,131	222,055	16,100	205,955

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	222,055
「その他」の区分の損失( )	16,100
全社費用(注)	121,739
四半期連結損益計算書の営業利益	84,215

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	690,295	166,366	248,106	1,104,768	171,431	1,276,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	690,295	166,366	248,106	1,104,768	171,431	1,276,200
セグメント利益	100,054	4,287	1,036	105,378	10,279	115,658

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容  
 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	105,378
「その他」の区分の利益	10,279
全社費用(注)	123,844
四半期連結損益計算書の営業損失( )	8,185

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた一部事業について、事業展開に即した見直しを行ったことにより、「機能性薄膜・ガラス事業」を新たに報告セグメントとしております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ( )	1円33銭	2円47銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親 会社株主に帰属する四半期純損失金額( ) (千円)	30,148	57,215
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期 純損失金額( )(千円)	30,148	57,215
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,714	23,125
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1円33銭	
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千 円)		
普通株式増加数(千株)	36	
(うち新株予約権)(千株)	(36)	( )
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式 で、前連結会計年度末から重要な変動があったもの の概要		

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、当第1四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

岡本硝子株式会社  
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	加	藤	敦	貞
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	吉	川	高	史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている岡本硝子株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、岡本硝子株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。